

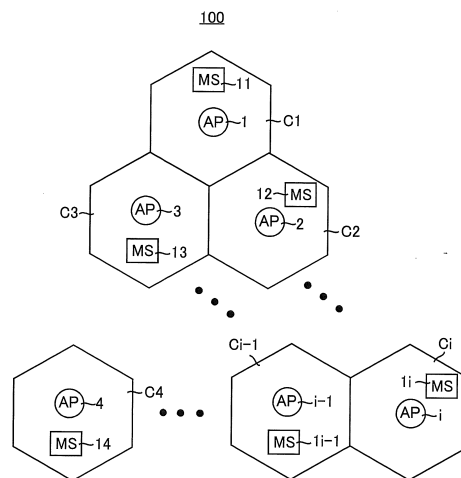
技術の名称

無線通信システム

適用分野

無線LAN、移動体通信

- 目的 無線資源を有効に活用すると共に、優先順位の低い通信セルにおけるデータ伝送のスループットを向上させる。
- 効果 複数のアクセスポイントが近接して配置されている状況において、優先順位が低い無線装置は優先順位が高い他の無線装置に開放要求データチャンネルを送信し、その要求を受けた優先順位が高い無線装置は自己が使用しているチャンネル一部を優先順位が低い無線装置が使用できるようにしているため、優先順位が低い無線装置においてもデータ伝送のスループットが向上する。
- 技術概要 アクセスポイントAPと移動端末MSとから構成される無線装置Cが近接配置された状況においては、各無線装置のチャンネル選択情報がほぼ同じ内容となってしまうために優先順位が低い無線装置のスループットが低下してしまうが、本発明においては、AP1は自己が使用しようとしているデータチャンネルDCとAP2が使用しようとしているDCのうち、重複するDCの中から開放要求DCを決定してそれをAP2に送信し、AP2はその開放要求DCと自己が使用しようとしているDCから開放できるDCをAP1に送信することによって、AP1はその開放されたDCを使用して無線装置C1内でデータ伝送を行なう。
- 特記事項、図など



- 主たる提供特許 特許等の名称:無線通信システムおよびそれに用いられる無線装置
登録番号:
出願番号:特願2010-073255 出願日:平成22年3月26日
公開番号:
- 実施実績 有、 ○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp